

食育事業取組報告書(紫雲寺小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) <div style="display: flex; align-items: center; gap: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">育てる</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作る</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食べる</span> <span>返す</span> </div>	実施年月日	令和6年5月7日～3月7日
教科名	総合的な学習の時間	指導者	
単元名	発見！お米の可能性		
ねらい	米作りに関わる活動を通して、食糧を生産する苦労・工夫・喜びを実感するとともに、米文化の多様性に気付いたり、米作りと自分たちとを結びつけたりしながら、生活を見直していこうとする意欲を高める。		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	
<p>1 活動の見直しをもつ(4. 5月)</p> <p>2 紫米を育てる(5～10月)</p> <p>3 米作りに挑戦しよう「田植え」(5月)</p> <p>4 米作りに挑戦しよう「調べ学習」(5・6月)</p> <p>5 米作りに挑戦しよう「観察」(7月)</p> <p>6 米作りに挑戦しよう「販売」(11月)</p> <p>7 米作りに挑戦しよう「調理実習」(3月)</p>		<p>・児童の日常生活に身近な日本の農業や食料生産の課題を提示し、学習の必要性を理解させ、各自の興味・関心によるめあてを持たせた。</p> <p>・紫米栽培を行っている農家(保護者)から、紫米栽培の苦労や工夫、栽培方法を学び、バケツ栽培を始めた。</p> <p>・JA職員・地域の稲作農家の方々から協力していただき、借用している田で田植えを実施した。</p> <p>・社会科学習と関連づけ、米作りに関する調べ学習を行った。</p> <p>・学校の敷地内で栽培している紫米の水やりの際など、米の成長の様子を観察した。</p> <p>・作品展当日、来校した保護者を対象に米販売を行い、販売までの準備作業や販売方法の工夫等を体験させた。</p> <p>・家庭科の調理実習として、鍋で白米を炊き、会食することで改めて米のおいしさを実感した。</p>	
		 	
成果と課題	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植えの体験や米作りについての学習を通し、米作りに関わる人々の苦労や工夫を実感し、また、日本の食料生産についての興味・関心を高めることができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の猛暑及び物価高等の影響により、児童の学習活動に制限が生まれてしまうことがあった。</li> <li>・田植えや稲刈りは天候に影響されるので、年度当初の見直しを持った作業計画の作成が必要である。</li> </ul>		
	家庭との連携・地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA北越後の職員、地域の稲作農家・紫米農家の方々及び保護者から協力を得ることができた。農業に携わるの方々から、お話を伺う機会を得て、地域の農業と自分との関わりを感じることができた。</li> <li>・初めて田植えをした児童も多く、米作りの大変さの一端ではあるが、体験しないと実感できないことを作業を通し、得ることができた。</li> <li>・米販売当日は、他学年の保護者の方々からもたくさん購入していただき、5年生のお米作りの学習を広めることができた。</li> </ul>	